

II

改訂基本構想



- 1 将来の都市の姿
- 2 施策の大綱

暮らしの基盤
・ 安全安心

協働・
行政経営

教育・文化



基本理念

都市像

都市
き前橋

環境共生

健康・福祉

産業活力

元気で楽しいまちづくり

(1) 将来都市像



前橋市は、人もまちも生き生きと輝く都市を目指して、

生命都市いきいき前橋

を将来都市像とします。

本市は、水と緑あふれる豊かな自然環境や高い農業生産力、充実した医療環境など、生命に関係する恵まれた地域特性と、悠久の時の流れに培われた歴史的価値や、地域の多様な個性、文化的価値を有しています。

これらの特徴は、本市が生命を尊び、育み、守るにふさわしい都市であることの証であり、引き続き、誰もが安全に安心して快適に暮らせる都市環境を持続していきます。

また、本市固有の地域特性と、市民や地域が持つ「力」を都市の成長を支える栄養として活用し、地域の活力が地域の中で持続的に循環する流れを作り出すことで、従来の概念や価値観に捉われない「新たな前橋らしさ」を生み出していきます。

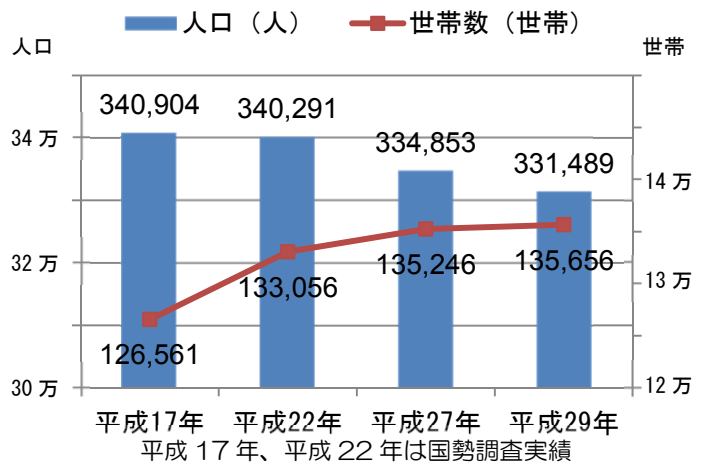
このように、県都としての求心力や都市全体の活力を高めながら、「産業や人材を育み、皆が住みやすく、自然にもやさしく、文化が豊かであること」を基本に、「**元気で楽しいまちづくり**」を進め、人もまちも生き生きと輝く「生命都市いきいき前橋」の実現を目指します。

(2) 人口フレーム

■想定人口及び世帯数

わが国全体の人口が減少する中、全国的な傾向と同様に、本市の人口は減少していくものと予測されます。今後、人もまちも生き生きと輝く都市づくりを進め、減少幅を最小限にとどめることとし、計画の最終年度である平成29年度の想定人口を331,489人と設定します。

また、少子高齢社会の進展による一人世帯の増加や核家族化により、今後も本市の世帯数は増加すると考えられるため、計画の最終年度である平成29年度の世帯数は、135,656世帯と予測します。

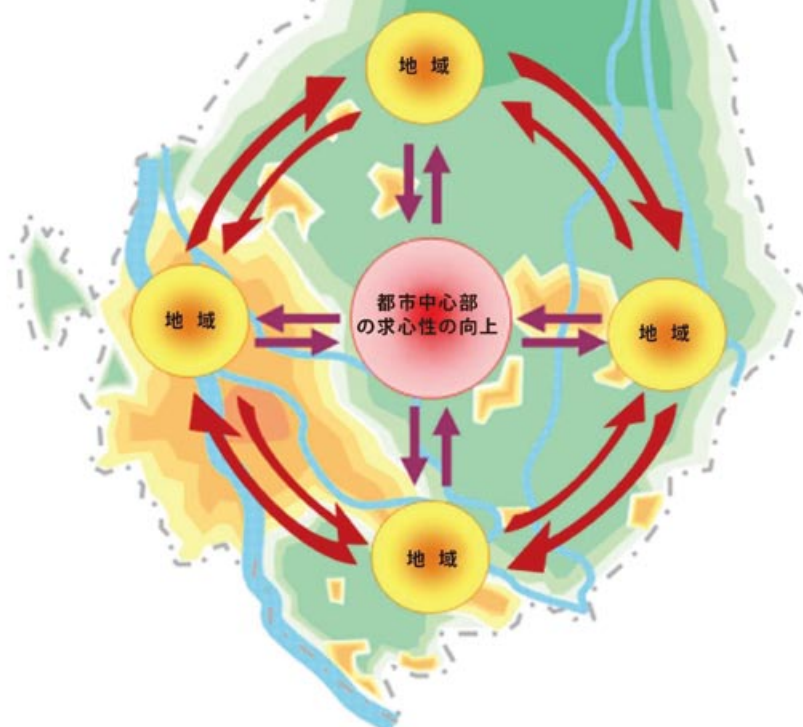


(3) 土地利用

豊かな自然と詩情あふれる文化風土に恵まれた本市は、群馬県の県都として、古くから多くの人々が集い、生活を続け、「都市と自然が共生するまち」として発展してきました。現在では、市南部・東部に広がる田園地帯から、市街地、そして市街地近郊の住宅地を経て赤城山の山頂に至るまで、約311平方キロメートルの広大な市域を有しています。

土地は、限られた資産であることから、地域の特性やさまざまな社会的要因に応じて、適正に利用することが重要です。特に、高齢化や人口減少が加速する今後、都市の成長を前提とした都市構造ではなく、既存の都市基盤の活用と土地利用の適切な誘導によって、成熟社会に向けた都市構造を目指す必要があります。

このため本市では、地球環境への配慮を含め、都市機能の効果的・効率的な集約化に努め、都市中心部の求心性の向上を図るとともに、地域や集落の維持・活性化に向け、都市と自然の調和がとれた柔軟な土地利用を推進します。



II 改訂基本構想

2 施策の大綱

施策の大綱は、将来都市像の実現に向けた政策や施策を整理し、相互の関係などを明に基づき施策を体系化し、総合的・計画的なまちづくりを進めます。

生命都市いきいき

● 快適で暮らしやすいまちづくり

市民が安心して生活するためには、良好な都市基盤と利便性の高い都市交通網が整備されていることや、自然災害などから生活が守られていることが重要です。

都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、市民誰もが快適さや安全・安心な生活を実感し、生き生きと暮らせるまちづくりを進めます。



暮らしの基盤・安全安心

● 個々が光り輝くまちづくり

生き生きと健やかな生活を送るためには、心身ともに健康であることが必要です。

市民誰もが健康で、住みなれた地域で互いに「思いやり・支えあい・助けあい」ながら、個々が元気で充実した生活を送れるまちづくりを進めます。



健康・福祉

● 豊かな心を育むまちづくり

学ぶことにより、生きがいやたくましく生きる力が育まれ、市民一人ひとりが生き生きと充実した人生を送ることができます。

共に学び合い、考える力を育て、豊かな心を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツの振興や文化の薫り高いまちづくりを進めます。



教育・文化

らかにする基本的な枠組みです。第六次前橋市総合計画改訂版では、6つの施策の大綱

前橋の実現



環境共生

● 恵み豊かな自然と 共生するまちづくり

雄大な赤城山を背景に、利根川や広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然環境は、生命を尊び、育み、守るにふさわしい生活空間であると同時に、人間だけでなく、多くの生命が共生している証でもあります。

豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、環境宣言都市にふさわしいまちづくりを進めます。



産業活力

● 地域資源を活かした 活力あるまちづくり

都市の活力源は産業であり、活発な産業経済活動により人や物が交流するにぎわい空間が生まれ、まちを生き生きと輝かせます。

事業集積が高い商工業の発展と雇用の促進、全国有数の生産額を誇る農業のさらなる振興、また地域の特性や魅力を活かした観光施策などの産業振興により、活力あふれるまちづくりを進めます。



協働・行政経営

● 市民協働のまちづくり

多様化する地域の課題や市民ニーズに対応したまちづくりを進めるため、自立性が高く、将来の世代に負担を課すことのない持続可能な都市経営に努めるとともに、地域の魅力や個性を活かし、市民力や地域力をあわせた協働のまちづくりを進めます。